

# めいわ 議会だより

No.54

2012

平成24年2月10日発行

群馬県邑楽郡明和町議会



## 分列行進 (館林地区消防組合出初式)

- |        |                |   |
|--------|----------------|---|
| 定例会    | 平成23年度補正予算を可決  | ② |
| 臨時会    | 人事院勧告に伴う給与引き下げ | ⑦ |
| 所管事務調査 | 施設及び事業の現地調査    | ⑧ |
| 一般質問   | 9人の議員が町政を問う    | ⑨ |
| 研修報告   | 静岡県・愛知県方面視察    | ⑭ |

議会会議録を町のホームページ(議会事務局)に掲載しています。

町のアドレス <http://www.town.meiwa.gunma.jp>

# 一般会計補正予算を賛成多数で可決

## 一般会計補正予算の 主な内容

- 町営住宅新田団地周辺道路舗装  
新設工事費 400万円

町営住宅周辺道路の舗装を行うため追加補正します。



町営住宅新田団地

子ども会上毛かるた大会

- 賦課・徴収・住民基本台帳等事務費  $\Delta$ 958万円

新規システム導入延期により保守料や使用料等が減額となります。

- 川俣駅周辺地域整備設計等業務委託料 310万円

駅周辺整備の物件調査に要する経費が不足したため追加補正します。

- まちづくり情報交流館設置費 16万円

駅前に情報発信の場を開設するため追加補正します。

- 適応指導教室（ふれあい教室）雨漏り修繕工事費〔川俣地内〕 147万円

雨漏りの修繕工事を行うため追加補正します。

- こども園トイレ改修工事費 399万円

職員用の一部のトイレを園児用に改造するため追加補正します。

- 職員人件費  $\Delta$ 1,759万円

人事院勧告に伴い、職員の給料・手当が減額となります。

## 12月定例会

平成23年第4回明和町議会定例会は、12月7日に招集され、14日までの8日間の会期で開かれました。  
この定例会には、町長から人事案件、条例改正及び平成23年度の各会計補正予算の8議案が提出され、慎重に審議した結果、すべて原案のとおり可決しました。  
また、最終日には議員から「議員報酬の特例に関する条例制定」の発議が提出され、原案どおり可決しました。一般質問には9人の議員から12問の質問があり、活発な議論を展開して町当局の所信をいただきました。

## 12月補正の結果

(数字は万円未満を切り捨て)

会計名		12月補正額	補正後の予算額
一	般 会 計	1,255万円	44億7,613万円
特	後期高齢者医療	$\Delta$ 109万円	8,621万円
別	国民健康保険	8,249万円	12億9,523万円
会	介護保険	14万円	8億2,894万円
計	下水道事業	16万円	4億9,628万円
水道事業会計		4万円	3億4,174万円

# 12月定例会

12月定例会

主な質疑

住民目線で徹底チエツク！

## 平成23年度一般会計補正予算

### 被災児童生徒支援補助金

**質問** 補助金4万5000円の対象は小中学生なのか。また、対象の人数は。

### 学校教育課長

東日本大震災により被災した児童が西小に1名転校してきたので、その児童に対する就学支援の補助です。

### 生活のしづらさ調査

**質問** 生活のしづらさ調査委託金の事業内容は。

### 住民福祉課長

健常者には何

### こども園費

**質問** トイレ改修工事費399万円とあるが、なぜ当初予算に入れなかったのか。

### 学校教育課長

こども園の園

児が増加しトイレが不足するために、女子職員トイレを子ども用に改修するためです。来年度当初から使用可能とするため、今年度中に改修したいと思っています。

### 都市計画費

**質問** まちづくり情報交流館(仮称)を駅前にはなせか。

質借料というところだが、町で開発を行う東側でないのはなぜか。また、役場から近いが、民間施設を借りて行う必要性は。

### 都市計画課長

駅を中心としたまちづくりを進めるということから、観光交流センター(仮称)を西側に予定しており、開設されるまでの期間暫定的に設置します。大きな事業ですので、現場事務所として現地の方々と意志の疎

### 質問

職員又は臨時職員を常駐させるのとことだが、どの程度の人数が訪れることを想定しているのか。

### 都市計画課長

来場者数については想定していませんが、毎日より多くの方が来ていただけるような場所づくりを考えています。



こども園

### 社会教育総務費

**質問** 放課後子ども教室推進事業の県費補助金返還金5万円とあるが内容は。

### 生涯学習課長

業務の都合上、年度を繰り越してしまいう部分があり、残金が出たために返還するものです。

### 臨時財政対策債

**質問** 起債をするが、政府資金なのか。金融機関なのか。また、金利はいくらなのか。

### 企画財政課長

臨時財政対策債が合計で4億1755万4000円となり、4億44万円を政府の財政融資資金、残りを地方公共団体の金融機

### 質問

構から借入れを考慮しています。金利は年率1・2〜1・3%くらいになるかと考えています。

### 寄附金の一部改正

**質問** 寄附金控除の改正で、町で指定している団体は。また、NPO法人の扱いは。

### 税務課長

今回の改正は、税制で支援するためのもので、寄附金の下限額を現行の5000円から2000円に改正するものです。町では、明和町社会福祉協議会、新橋会、もくせい会の3団体を指定しています。

### 企画財政課長

本来予算を組むときに前年度剰余金を基金の中に積み立てるか、前倒し返済の財源とするわけですが、23年度は積み立て等していませんので、優先的に積み立てを行います。

## 明和町税条例等の一部改正

寄附金控除の概要 (注：下記はわかりやすく一部を表現したもので、詳細については申告の際にご確認ください。)

	主な対象寄附金	寄附金控除額例
住民税 (税額控除)	国・地方団体等に対する寄附金 (ふるさと寄附金、震災義援金など) 県・町の条例で指定した寄附金 (学校法人、社会福祉法人など) NPO法人に対する寄附金 ※改正による認定NPO法人以外の条例で指定したNPO法人含む(県に準じ指定見込み)	次の①②のいずれか少ない額で算出 ①寄附金の額 ②総所得金額等の合計額の30% -2,000円×控除率 (控除率) 県民税 4% 町民税 6%
所得税 (所得控除)	住民税で対象となる寄附金は全て寄附金控除の対象となる ※認定NPO法人以外の条例で指定したNPO法人除く	次の①②のいずれか少ない額 ①寄附金の額-2,000円 ②総所得金額等の合計額の40%-2,000円



放課後こども教室

12月定例会

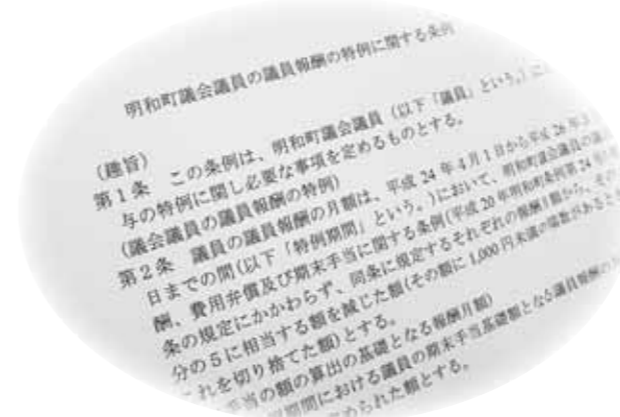
種別	件名	審議結果	
		賛成	反対
人事	人権擁護委員の推薦につき意見を求めること	全員賛成	原案可決
条例	明和町税条例等の一部改正	〃	〃
	明和町議会議員の議員報酬の特例に関する条例の制定	〃	〃
予算	平成23年度明和町一般会計補正予算（第3号）	賛成多数	〃
	平成23年度明和町後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	全員賛成	〃
	平成23年度明和町国民健康保険特別会計補正予算（第3号）	〃	〃
	平成23年度明和町介護保険特別会計補正予算（第2号）	〃	〃
	平成23年度明和町下水道事業特別会計補正予算（第2号）	〃	〃
	平成23年度明和町下水道事業会計補正予算（第1号）	〃	〃

## 議員発議

議員報酬5%削減を

全会一致で可決！

バブル崩壊にはじまり、3年前のリーマンショックさらには昨年の欧州債務危機による世界経済が混乱する中、日本経済も低迷し企業活動が全般的に停滞し、民間賃金が抑制されています。この社会情勢に鑑み、議員報酬を削減することはやむを得ない決断で、当面5%減額を実施することは、住民負担に配慮するものと、議員全員で提案し、全会一致で可決し、本年4月より実施します。



町議会議員の月額報酬

	現行	改正後
議長	318,000円	302,000円
副議長	243,000円	230,000円
委員長	225,000円	213,000円
議員	220,000円	209,000円

## 第3回臨時会

平成23年第3回明和町議会臨時会は、11月28日に招集され、会期1日で開かれました。町長から人事院勧告に伴う給与引き下げの条例改正案が提出され、慎重に審議した結果、原案のとおり可決しました。

### 主な質疑

#### 人事院勧告の実施について

**質問** 政府は国家公務員給与引き下げの特例法案を優先して成立させるため、人事院勧告の実施見送り方針を決めています。このことについて、町長の所見は。

**町長** 明和町については、従前から人事院勧告に基づいて実施しています。

#### 東日本大震災に対応した職員の補償は

**質問** 東日本大震災に対応した町の職員は色々な苦勞をし、労働条件も過酷な面があったかと思いますが、職員に対し何らかの対応（補償）はあったのか。

**総務課長** 全職員体制で、超過勤務手当や振替休日など無しで対応しました。ただし、深夜に及ぶ部門については、一部の職員に手当を支給し対応しました。

### 反対討論

岡安 敏雄 議員

質疑の中で3・11東日本大震災時の対応で超勤なり、節電に伴う過酷の労働条件もあつたと説明された。人事院勧告は国家公務員と民間との格差が月899円（0・23%）あることを理由に削減勧告していますが、国家公務員と地方公務員の所得格差はかなりあると思うので、明和町の職員に対しては減額する必要はないと考え反対するものです。



### 第3回臨時会 提出議案と審議結果

11月28日

種別	件名	審議結果	
		賛成	反対
条例	明和町職員の給与に関する条例等の一部改正	賛成多数	原案可決

# 総務・産業

## 常任委員会

◆ 期日 11月24日(木)・12月7日(水)  
◆ 現地調査箇所

- ・ 上江黒地内道路付け替え計画他2路線  
(経済建設課)
- ・ 江口排水路(経済建設課)



江口排水路



矢島地内

## 常任委員会所管事務調査報告

2つの常任委員会は、各委員と事務局出席のもと、所管に関わる事務調査を実施しました。調査の内容は、各担当課長から平成23年度事業の進捗状況と平成24年度の事業概要について説明を受け、町内の施設及び事業の実施状況等現地調査を実施しました。



最終処分場計画地



こども園

# 文教・厚生

## 常任委員会

◆ 期日 11月22日(火)・12月7日(水)  
◆ 現地調査箇所

- ・ こども園(学校教育課)
- ・ 最終処分場(焼却区)計画地  
(環境水道課)



## 一般質問

優しい町づくりのために活発な議論を展開!

# 町政を問う

9人の議員が質問

齋藤 一夫 議員

## 西部地区へのもったいない館設置について

よりよい収集体制の整備を/町長

**質問** 中央部、東部に  
はもったいない  
館が設置されてい  
ますが、西部には  
なく、高年齢者  
にとっては容易な  
事ではありません  
もったいない館が  
中央部、東部に設  
置されているの  
です。西部にも  
もったいない館  
を設置し、更なる

サイクルの向上と利便性を図り、より一層の分別収集の推進をしてはどうか。  
また、東日本大震災により瓦の受け入れをもちたいない東館で行い大変込み合っていたが、その後の利用状況は。

**町長** 町では厳しい財政状況の中、東部の、中部、西部のバランスのとれた行政サービスを行っております。西部地区への設置については、今すぐにはいきませんが、今後行政運営の中で総合的に判断したいと思います。

**環境水道課長** 東館の利用率は20%でしたが、本年度は震災関係の瓦類の収集を行い、東館への搬入が増えました。11月末現在で22・8%の利用率です。現在は落ち着きを見せ、随分と減ってきて

**こんな質問もありました**  
・ 農業後継者対策について



# （仮称）「1人1本植樹運動」

## 「1軒1本植樹運動」について

前向きに実施していきたい／経済建設課長

**質問** 梨の知名度を活用した観光振興や農・商・官の連携による梨の消費拡大と、生産農家の維持拡大の起爆剤にすることや、

地方色ある貴重な情報発信源を目的に、梨の木を1人1本、町民みんなで1万1600本。梨基金を設立して、情報発信としての駅前広場に梨の木の植樹を提案します。また、現在のハナミズキの代替えとして植樹、そして遊休農地やグリーンバンクを利用しての植樹運動が、特産品の梨を町内外にアピールするた

めに必要だと考えられます。

**経済建設課長**

特産の梨を使ったまちづくりという点では、大変参考になる提案であると受けとめています。梨の苗木を購入する費用等、町民の理解が得られるかどうかなど、検討する余地はありますが、その理念については大きく賛同し、前向きに実施していきたいと思えます。また、遊休農地への植栽については、来年度予算で要望しています。1万1600

人を巻き込んだ運動につなげていければと考えています。そして梨基金の設立も、駅前の植樹はもちろん、法人化に向けては、当然視野に入れています。



川島 吉男 議員

# 緊急避難行動計画及び社会的弱者の避難対応の見直しについて

各地域の実情にあった取り組みを／総務課長

**質問** 東日本大震災以降、町では避難行動計画の策定や見直しを実施していると思うが、その計画の概要と高齢者や障がい者、子ども等の社会的弱者の緊急避難行動の対応における体制、避難場所の地図（ハザードマップ）の配布予定は。

**総務課長**

国及び県が定める計画に整合性を考慮し、町でも東日本大震災を契機に避難行動計画の素案策定作業に取り組んでいます。高齢者等の社会的弱者に対する避難支援計画については、避難施設の指定及び要援護者への支援の配慮について定めていますが、今後見直しに併せて詳細に考えて進めたいと思います。

ハザードマップの配布については、平成13年より3回配布し、町ホームページにて閲覧可能であることから現状では配布予定はありません。町政懇談会等の機会を利用し自主防災組織の育成をしたいと考えています。今後は各地域の実情にあった、避難救護訓練等も取り組みながら啓発したいと思えます。



岡安 敏雄 議員

# 福島原発による避難者支援策について

ニーズの把握に努める／町長  
安全安心に取り組む／教育長

**質問**

3月11日大震災と津波による被害、とりわけ原発事故と放射能汚染による原発周辺地域においては物的復旧・復興とは違い、目に見えぬ20年30年あるいは50年とも目途のない戦いであり、指定避難地区住民の27%の人が戻らないと考え、34歳以下の人では50%が戻れないと答えています。これら避難者に、どんな支援が出来るのだろうかと考えたとき、今後何年間も高卒生や大学卒業者の就職支援が大切だと思います。そこで町内の企業に雇用を求め指定避難地域の就労希望者を雇用する企業に支

援金や優遇措置策をと、避難者への希望を与える門戸を開くことを提案します。

また、放射能に関連し学校給食への安全確認が心配されていますので、町では確実に検査すべきと考えますが対応は。

**町長**

被災者雇用対策では国の緊急雇用制度を活用し、町では教育委員会が2名、商工関係で1名、1月から被災農家の2名の就農を予定しています。国税地方税などの法的優遇措置は今のところありません。また、雇用企業への県や町の支援制度はありません

ので、議員の提案も含め商工会と連携しながらニーズの把握に努めていきたいと思えます。

**教育長**

給食用の線量は計は100万円以上するものですが、国の補助もあるという事なので申し込み手続きを進めています。一食あたり1kgを検査するわけですが、給食センター委員会や関係機関と連携し安全安心な給食提供に取り組みます。

こんな質問も

ありました

・環太平洋経済連携協定（TPP）に関する町の現状と町内企業の内外依存度について

富塚 基輔 議員

# 大規模指定既存集落等の指定基準問題について

見直す予定はない／都市計画課長

**質問** 明和町は13の地区に大規模指定既存集落が指定されていますが、大規模指定既存集落内には農業振興法で言う青地は存在しないのが普通です。ところが、明和町は半分以上に青地が点在しています。板倉町も千代田町も邑楽町も館林市もこの大規模指定既存集落がありますが、どこの市町も大規模指定既存集落内には青地の存在はなく、全部農地は白地です。青地の除外には1年以上かかる作業ですから町民の利便性を考えて、前向きに大規模指定既存集落内の青地をなくしていく是正措置を取る必要があると思うが。

の大規模指定既存集落の指定に当たりましては、優良農地とされている農業振興地域を含まないものと解釈できるものと思えますが、除外の所定の手続を行うことにより、一定の要件を満たしていれば建築の新設等は可能であると思えますので、現段階では見直す予定はありません。



大規模指定既存集落内

**都市計画課長** 明和町においては184.6ヘクタールの区域が指定されています。こ

# 明和第三工業団地進出企業の 動向とグリーンバンクの 進捗状況について

## 優良企業の誘致を／町長

**質問** 明和第三工業団地は第一期工事  
が完了し、県企業局に  
おいて既に分譲受付審  
査等が開始されたよう  
だが、町では生産工場  
ならどのような種類の製  
品製造業を要望してい  
るのか。町にとって最  
も優良な企業誘致がで  
きれば、町の活性化に  
つながると期待を寄せ  
ているが、現状を伺  
う。また、グリーンバ  
ンク用地の今後の事業  
計画は。

スの向上、自然災害が  
少ないなど立地条件が  
高く評価されており、  
引き合いが多くきてい  
ます。雇用の確保や安  
定した税収を考え、基  
本的には製造に係る生  
産工場で第一期分15へ

クタール全部を1社で  
立地するよう要望して  
います。また、グリー  
ンバンクの整備につい  
ては、団地内の公園用  
地の整備完了後、早く  
て平成25年度以降の着  
手になります。

**町長** 震災直後でもあ  
るし、事業拠点  
の分散化、交通アクセ



明和第三工業団地

堀口 正敏 議員

# 大型事業推進には財政計画の策定を

## 今の経済状況から困難／町長

**質問** 町の借金（起債）は、平成23年度末で87  
億5千万円になる見込みで、19年度と比  
べると14億円増えている。貯金（基金）は、7億  
円減っている。借金が増え、貯金が減った部分を  
合計すると4年間で、21億円の赤字をつくったもの  
と同様。町税は、平成23年度は過去最高の平成18  
年度のときの半分に落ち込む見込みで、右肩下がり。  
平成22年度一般会計の町借金は、板倉町、千代田町より多くなった。板倉町、千代田町は、財政  
計画等を策定して借金を減らしてきた。川俣駅前  
開発など大型事業を推進しているが、この先も持  
続可能な町政運営を適切に対応していくため、財  
政見通しや財政規律を明確にする必要がある。①  
総合計画では、中長期の財政計画を策定するとある  
が、策定しないのか。②適正な借金の上限額は。

今回の補正予算では、金利が貯金よりも臨時財  
政対策債（臨債）の借金が10倍以上高くなってい

る。臨債は、借りなくても借りたものと同様に、  
後年度で交付税措置されるもの。③借金しないで  
余った額を貯金すれば良かったのでは。

**町長** ①借金が多くなったのは、下水道でかなり  
のウエートを占めています。リーマン  
ショックや欧州債務危機などで、今の経済状況を見  
ると財政計画を策定するのが困難かなと思っています。  
検討させていただきたい。

**企画財政課長** ②金額で示すことは難しい。実  
質公債費比率※は、平成22年度  
単年度で9.5%ですが、15%未満で維持したいで  
す。③今後大きな事業をするためには、現金をも  
つ必要があります。臨債を借り入れしながら財政  
運営をします。

※実質公債費比率は、町の収入に対する借金の返済を示す数値で  
す。収入＝町税＋普通交付税＋臨時財政対策債発行可能額など。

栗原 孝夫 議員

# 農道に対する予算枠組につい て

**質問** 昨年、見捨てら  
れた農道と進展  
しない道路について質  
問しました。前向きな  
回答を頂いたと思った  
のですが、どうしても  
利用頻度の高い道路が  
優先されて、必要とさ  
れている農道が一向に  
拡張整備されません。  
半永久的に手つかずに  
する考えなのか、農道  
に対する町の見解は。  
また、純粋な農道に使  
える予算枠を設けて、  
毎年少しずつでも拡張  
整備を行う考えは。

**副町長** 限られた予  
算であり、  
どうしても優先順位を  
つけています。しかし、  
農業機械の大型化等も  
ありますので、道路改  
良審査委員会で十分な  
ご議論をいただきました  
。財政的に余裕があ

れば別枠での予算も効  
果的とは思いますが、  
現状では大変厳しい状  
況です。国や県の農政  
部局予算を活用しなが  
ら、国や県の予算で、  
効果的な整備が出来れ  
ばと考えています。



未整備の農道

菌田 繁 議員

# 病児・病後児保育について

## 調査し検討／教育長

**質問** 子どもが急な病気や体調不良の時、看護の  
ために保護者が休暇を取得できないことも  
現実には多く、風邪や発熱の子どもも受け入れ可  
能な、病児・病後児保育は、仕事を続けながら子  
育てをする共働き家庭、母子家庭、父子家庭には  
必要不可欠な制度です。「子育てをするなら明和  
町」と言われる本町において、病児・病後児保育  
を実施する考えがあるか。

**教育長** 病児・病後児保育事業の保育サービ  
スは、仕事をしながら子育てをする、そ  
ういう家族等が増加する中で生じた切実な願  
いであると認識しています。町としては、そ  
うした保護者のニーズと今後の子育て支援  
について改めて協議し、こども園での体  
調不良児対応型の実施の

有無も含めて、病児・病後児保育にどう対応して  
いくことが望ましいのか、そのあり方や実施上の  
課題についてしっかり調査し、検討していき  
たいと考えています。



隣市の病児保育室

こんな質問もありました  
・民間委託業務の現状と今後の方針について

# 議会全体研修

## 11月9日～11日

静岡県伊豆市・愛知県犬山市

### よりよい町づくりのために

議会全体研修として、平成23年11月9日から11日の2泊3日の日程で伊豆市及び犬山市を訪問しました。

始めに、伊豆半島の中央部に位置し、豊かな自然環境に恵まれた伊豆市を訪問しました。

伊豆市は、平成16年に修善寺町、土肥町、天城湯ヶ島町、中伊豆町が合併し、誕生した人口約3万5千人の市です。天城越えで有名な天城山が中央にそびえ、駿河湾までの広範囲に及ぶ、静岡県で4番目に面積の広い自治体です。市の産業は観

光がメインで、浄蓮の滝やわさび沢は全国的にも有名な観光名所です。

伊豆市では、国民健康保険税の資産割廃止の経過と現状及び防災

行政無線整備の現状と課題について研修をしました。

資産割を廃止する自治体が増える中で、実際に廃止した伊豆市の経緯や廃止後の課題、

住民の反応等を説明いただき、明和町での国民健康保険税のあり方について、具体的な事例を交えて研修することができました。

防災行政無線は、合併前の旧町単位で運用を行っており、屋外子局が168局、戸別受信機が4336機設置されています。地域が広いことと、山間地や沿岸部といった自然環境により難聴地区があることから、戸別受信機の設置が多いことが特徴です。課題としては、デジタル化が進まないことと難聴地区の



対策があります。

これからの防災行政は、防災行政無線の他にもコミュニティFMの導入や防災フリーメールの活用等を複合的に進め、相互補完の行えるシステムを構築することの必要性を研修することができました。

次に、木曾川に姿を映す国宝「白帝城」と称される犬山城で有名な犬山市を訪問しました。犬山市は、愛知県の最北端、名古屋市からは25kmに位置し、北は木曾川を隔てて岐阜

県と接していて、人口約7万6千人の歴史や自然の豊かな資源を持つ観光文化都市です。

犬山市では、議会改革の取り組みについて研修しました。犬山市議会は議会改革として、「情報公開の促進」

「議員報酬の見直し」「議員間討議の促進」「議会人事・組織の改革」「適正な政務調査費の管理」「議会基本条例の制定」「市民との意見交換会の開催」「その他」の8項目について議論を重ね、平

成21年度から順次実践をしてきました。

各項目の詳細を担当の職員の方から説明をいただき、情報公開や議員報酬の見直しについて、活発な意見交換ができました。

今回の視察では、明和町や明和町議会が直面する課題について研修ができ、大変有意義な時間を過ごすことができました。それぞれの自治体から学んだことを、今後の議会活動に活かしていきたいと思

います。

# 議員研修

## 10月26日

### 災害と地方分権の行方

町村議会議員研修会が10月26日に吉岡町文化センターで開催されました。この研修は、毎年1回、議員の活動推進を目的に開催されています。

議会議長会事務総長 高田恒氏による「町村を取り巻く諸課題について」と題して、大規模災害への対策、地方分権の行方、平成23年の地方

自治法改正などについて詳細に説明いただきました。これらの講演を今後の議会活動に反映していきたいと思

います。



今回は、軍事アナリストの小川和久氏による「東日本大震災・原子力事故は終わってない」と題し、いつ起こるかかわからない自然災害に対する危機管理を、具体的な例をあげてわかりやすく解説していただきました。続いて、全国町村







小宅 誠さん  
(新里在住)

# 「絆」

2011年の漢字は「絆」でした。大震災を被つての人の絆の大切さを再認識した結果です。95年以降の「今年の漢字」を振り返ると、「震」、「災」といった漢字が選ばれており、自然災害が隣接する国なのです。

「絆」ですが、窮地極限に至ってから築いてもまさに泥縄で、やはり普段から家族・友人・近所・地域と築いてゆくことが肝要です。

来月には各地で大規模災害を想定した訓練・行事があります。もし明和町で社会システムが機能不全となった場合に、自分の行動はどうであるべきか、自分は何で貢献出来るのか、逆にこの点は弱いので、どのように手を差し伸べてもらえれば良いのか、を自問してはいかがでしょうか。

災害に強い明和町は必要ですが、時間とお金が掛かります。見方を変えれば、災害が起きて粘れる明和町は、住民一人ひとりの心掛けと「絆」で実現できます。一年経ちますが、「絆」を再確認して見ませんか。

## 議会日誌

### 10月

- 4日 邑楽郡議会議員親善スポーツ大会
- 5日 広報委員会
- 9日 町民体育祭
- 19日 広報委員会
- 24日 一部事務組合10月定例議会
- 25日 全員協議会
- 26日 県町村議会議長会主催議員研修会

### 11月

- 4日 町戦没者追悼式
- 6日 消防秋季点検、産業祭、文化祭
- 7日 総務・産業常任委員会
- 〃 文教・厚生常任委員会
- 9日 議員全体研修(11日まで) 静岡県他
- 16日 第55回町村議会議長全国大会
- 22日 文教・厚生常任委員会所管事務調査
- 24日 総務・産業常任委員会所管事務調査
- 28日 全員協議会、議会運営委員会
- 〃 第3回議会臨時会

### 12月

- 2日 議会運営委員会、全員協議会
- 7日 第4回議会定例会(14日まで)
- 〃 全員協議会、議会運営委員会
- 22日 議員研修会
- 〃 県町村議会議長会臨時会
- 27日 広報委員会

みなさんの傍聴をお待ちしています

議会の生の声を聞いてみませんか?

### 次回定例会

3月8日(木)から  
午前9時~

3月16日(金)まで  
(一般質問)

予定です

詳しくは議会事務局へ  
TEL 84-3111

#### 広報委員会

委員長 富塚基輔  
副委員長 斎藤一夫  
委員 奥澤貞雄  
田口晴美  
川島吉男

### 編集後記

寒さも厳しさを増し、悪夢の3・11まで後僅かとなった。

古来より、「地震・雷・火事・おやじ」という言葉がある。

雷や火事は、気を付ければ防ぐ事が出来るが、地震はそういう訳には行かない。自然の猛威というべきであろう。人間の力ではどうすることも出来ない。同じくして、火山の噴火がある。火山も人間の力は遠く

及ばない。昔は、死火山、休火山、活火山と分けられていたが、20年ほど前から死火山、休火山という言葉は使われなくなった。火山活動は、地震と同じで周期を長期にするからである。

災害は忘れた頃にやってくると言われていたが、近年は忘れる前にやってくると言われる様になった。いま一度、我が家の防災を確認してみよう。



斎藤委員記



環境にやさしいまちづくり。  
「めいわ議会だより」は、再生紙・植物油インキを使用しています。